

住民や企業を巻き込みながら進める『体験学習』と観光客/MICE 誘致 (公益社団法人八王子観光コンベンション協会)

1. 課題

八王子市は「自然・環境・歴史・伝統・ものづくり」などの観光資源が豊富であるものの、その観光資源について単なる「情報の提供」に留まっており、その背後にある「地域のメッセージ」が正確に伝わっていないという課題があった。

2. インタープリテーション※₁の必要性

そこで、地域のメッセージを伝える「インタープリテーション」が重要であるとの考えから、平成26年度に「学び」と「観光」を融合させる目的で「八王子インタープリテーション向上フォーラム」※₂を開催し、住民に向けてインタープリターを育てることを行った。その後、「住民が住んでいる地域が好き」・「住民に魅力の伝道師になってもらう」・「趣味から体験産業に」という住民参加を含有しながら観光客誘致を目的とした「八王子体験学習フェスティバル」を開催し、その後「体験学習フォーラム」へと発展していった。

「体験学習」は、住民はもとより企業を巻き込みながら「その地域の魅力的な資源を引き出し伝える」ことが特徴であり、その先には、八王子市を「住みたいまちから観光客が訪れたいまち」としての魅力を高めていくことを目的としている。

(※₁：単なる「情報の提供」でなく「体験」などを通し、事物や事象の背後にある意味や関係を伝え、来訪者と地域を結び付ける教育活動)

(※₂：「地域資源発掘型実証プログラム事業」を活用しました)

3. MICE との連携

八王子観光コンベンション協会は、平成29年7月に多摩地域で初めて都の多摩ビジネスイベント重点支援エリアの支援団体の指定を受けた。MICE 開催時に国内外から八王子市にきた方々の満足度をいかに高めるかが重要であり、八王子市らしい MICE のプレ・アフター体験の展開として、「インタープリテーション」の考えに基づいた多様な「体験学習プログラム」の存在が必要不可欠であり、「住民参加の体験学習」・「体験学習を基にした特別なツアー」・「地産地消の食」などによる八王子市の事業的・社会的付加価値を高めながらバリューチェーンの構築を図ることとしている。

4. 住民/企業参加の「体験学習」を育てていく

高尾山という都内有数の観光地を抱える八王子市であるが、観光客の満足度をさらに高めるためには、「住民が住んでいる地域が好き！」・「住民に魅力の伝道師になってもらう！」・「趣味から体験産業に」という住民参加を含有した「体験学習」を育てていくことが大切である。今後の「観光客/MICE」誘致には「八王子らしいコンテンツ」が重要であり、競争優位性と満足度を高めていくためにも、住民や企業を巻き込みながら「その地域の魅力的な資源を引き出し伝える」ことが必要である。

<おわりに>

観光振興のひとつの手法として「体験プログラム」のニーズが高まっている中で、八王子観光コンベンション協会が進めている「体験楽習」は、住民や企業を巻き込みながらプログラム造成を行うだけでなく、その地域のメッセージ伝えるひと（インタープリター）を育てていくことで、観光客が「訪れたいまちとしての魅力」を体験する仕組みを創り上げています。

このことは、他の地域でも参考事例となるため、今後の「体験楽習」の展開を期待したいと思います。

（地域支援窓口 多摩担当 松岡）

◆関連リンク

公益社団法人八王子観光コンベンション協会：<https://www.hkc.or.jp/>

